

大安寺報

第77号



名句・名言に学ぶ

杉山平一(詩人)

身体が先にこの世へ出てきてしまったのである。その用事は何であったのか。いつの日か、思い当たることのある人は幸福である。思い出せないまま僕はすすごとあの世へ戻る。

この冬の前半は例年になく暖冬となり、「このまま春になるのかな」と思っていました。二月下旬から思わぬ雪と寒さに見舞われました。「これこそ冬のいつもの光景」とどこか安心した自分がいましたが、思えば、冬は冬としての自分をやっと全うできたのかもしれない。そして春彼岸の頃ともなると気温もさらにゆるみ、やがては地面から草花が顔を出し、春という季節はその本分を全うすると思えます。翻って、私たち人間の用事＝本分とは何

なのかを自分自身で問い続けることの大切さを冒頭の詩は教えてくれます。いつも通夜の際にお読みする『修証義第一章総序』に「人として生まれることは難しく、仏法に遇うことはまれである。今の我々は、これまでに重ねてきた善い因縁に助けられ、既にありがたくも人として生まれたばかりではなく、遇いがたい仏法に遇うこともできた。生死輪廻を繰り返す中で善い人生であり、最も勝れた人生である。その最も勝れた善い人の命を、無駄に任せてはかない露のごとき命を、無常の風に任せたままにしない」という一節があります。大本山永平寺をお開きになった道元禪師のこのお示しをしかと受け止め、「仏教に出会うことのできた奇跡に感謝し、学び、実践する」という仏教徒の生き方を全うすることも、この世での「用事」の一つの選択肢であると私は思います。引き続き、法要の後の法話、写経・写仏・坐禅会、寺報などを通じて、その意義、喜び、実践方法などをお伝えして参ります。

仏事

Q&A 第五十二回

Q. 三仏忌とは何ですか？

A. 三仏忌とは、仏教の開祖であるお釈迦さまの生涯における重要な出来事三つをたたえて、その足跡に思いを致す法要を総称する言葉です。すなわち①降誕(誕生)、②成道、③涅槃の三つを指します。日本では一般に四月八日をお釈迦さまが誕生された日とします。(当寺では月遅れの五月八日)この時、お釈迦さまの伝記に伝えられる故事にちなんで生まれたばかりのお釈迦さまをかたどった誕生仏に甘茶をかけてお祝いします。また、悟りを開かれた成道の日は十一月八日とし、「成道会」という法要を行います。また、八十歳の生涯を終えられて涅槃に入られた日を二月十五日として(当寺では月遅れの三月十五日)、「涅槃会」の法要を行います。曹洞宗の各地の寺院では、お釈迦さまの最期の様子を描写した「涅槃図」をかけて、そのご遺徳をしのび、感謝のまことを捧げます。また、「涅槃団子」を作ってお供えします。涅槃団子は、お釈迦さまの舍利(ご遺骨)をなぞらえたものと言われ、食べることで無病息災の御利益があると信じられています。

出典:『仏事Q&A曹洞宗』曹洞宗総合研究センター

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県永平寺・神奈川県総持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏(なむしゃかむにぶつ)



『曹洞宗檀信徒手帳2024年版』頒布について

曹洞宗宗務庁の手帳です。二〇二四年一月～二〇二五年三月までのスケジュールと、身近にあると便利なお経や偈文を掲載しております。

当寺事務室にて希望者に頒布しております。ご希望の方はお声かけください。
※価格：一冊一五〇円

行事予告

大安寺 花まつり

お釈迦さまの誕生をお祝いする恒例行事を開催いたします。



- 開催日：令和六年五月八日(水) 午前九時～午後二時
- 共催：大安寺保勝会
- 釈尊降誕会法要 午前十一時～(本堂にて)

曹洞宗テレホン法話
曹洞宗宗務庁運営
0120-508-740
携帯の方は03-3454-5410
※5月30日～6月6日
「使命に生きる」
(副住職担当)

曹洞宗テレホン法話
「心の電話」
東北管区教化センター運営
022-341-1531
「志を立てる」
(副住職担当)

【維持費納入について】

令和五年度分維持費(四千元)の納入がお済みでない方、また、お手元にゆうちょ銀行払込取扱票が届いていない方は、当寺までご連絡ください。(最終納付期限は令和六年三月三十一日です)なお、令和六年度分維持費関係書類は令和六年六月末から郵送もしくは各地区役員さんを通してお手元にお届けする予定です。

各種講座のご案内(令和六年三月～六月)

- ◆「月例写経・写仏会」(予約不要)
日時：三月三十一日(日)、四月二十八日(日)、五月二十六日(日)、六月二十三日(日) 午後一時～三時
内容：ミニ法話・写経・写仏・茶話会
場所：中広間 参加費：五百円 備考：全席椅子席
- ◆「暁天坐禅会」(予約不要)
日時：四月七日(日)・二十一日(日)、五月五日(日)・十九日(日) 六月二日(日)・十六日(日)
午前七時～八時十五分 ※坐禅指導希望の方は午前六時半集合
内容：禅語紹介・坐禅・法座
場所：本堂 参加費：無料 備考：椅子坐禅可能 服装：動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)
- 三月十五日(金)午前十一時～
「涅槃会法要」(本堂)
※お釈迦さまの入滅(涅槃)にちなみ、報恩感謝する法要です。
※「だんごまき」を実施します。
- 三月二十日(水)春分の日(午前十一時～)
「春季彼岸会法要」(本堂)
※同日午後一時より「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂にて
- 五月八日(水)午前十一時～
「降誕会法要」(本堂)
※お釈迦さまの降誕(誕生)にちなみ、報恩感謝する法要です。

編集後記

一月一日の能登半島地震で亡くなった方々に哀悼の意を表し、また、被災された方々が少しでも早く日常生活に戻ることができることを願っております。今年の大安寺花まつりは能登半島地震のチャリティーとして開催いたします。皆さんのご協力を宜しくお願いいたします。(副住職)

次号のご案内 令和六年六月上旬に発行予定です。